

暮らしてわかった!

リアル AMERICAN ENGLISH



多岐川恵理
Eri Takigawa



アメリカ生活ならではの英語表現がぎっしり!

語研

暮らしてわかった！
リアル
AMERICAN
ENGLISH

多岐川恵理
Eri Takigawa

語研

はじめに

日常会話のフレーズ集じゃなく、スラング集とも違う、これはアメリカ暮らしを理解するため、現地で実際に暮らすための生活表現集です。

私がアメリカで大学生活を始め、やがてアメリカ人と仕事をするようになって身に付けた英語表現、知ってアメリカ文化の一端が見えた実感した用語を集めました。生活表現は数多くありますが、「知っていればより楽しく暮らせる」という基準で選んだ言葉たちです。

日本と似ているようでまったく違うもの、私達にはない習慣、おもしろい表現など、生活シーンごとに並べてみることで、自由、正義、自己主張、合理性、家族、キリスト教的価値観を大切に、楽しいことが大好きな人たち（大切なものや大好きなことが多すぎて迷走することもある愛すべき人たち）が作るアメリカ文化というものの大枠が、皆さんに伝わりますように。

本書が、実際にアメリカ暮らしをしている、これから始める方々のお役に立てることはもちろん、そうでない方にも楽しまれ、暮らしてみたくなったと思っていただけるなら、とても嬉しく思います。

多岐川恵理

もくじ

はじめに 3

本書の使い方 6

Chapter 1	社交 Social Life	7
Chapter 2	恋愛 Dating & Relationships	21
Chapter 3	エンタメ Entertainment	37
Chapter 4	電話・インターネット Telecommunications	57
Chapter 5	感情 Feelings	69
Chapter 6	政治・宗教 Politics & Religion	89
Chapter 7	気候・年中行事 Climate & Seasonal Events	103
Chapter 8	美容・健康 Beauty & Health	119
Chapter 9	家事 Household Chores	135

Chapter 10	家	
	Home	149
Chapter 11	仕事	
	Work	161
Chapter 12	外食	
	Eating-out	177
Chapter 13	買い物	
	Shopping	193
Chapter 14	銀行・郵便	
	Bank & Postal Services	213
Chapter 15	交通機関	
	Public Transportation	221
Chapter 16	車・ドライブ	
	Car & Driving	235
Chapter 17	宿泊	
	Lodging	247
Chapter 18	学校教育	
	School Education	255
	おわりに	278
	索引	279

【装丁】 神田昇和

本書の使い方

本書はアメリカ生活を通してよく目にする、耳にする、日常表現を紹介しています。トピックごとに全18章に分かれており、さまざまな英語表現とその表現にまつわる生活や文化情報、使い方などが学習できます。

また、巻末の索引には、見出しの英語表現と解説や例文で紹介している英語表現を収録していますので、ぜひ活用ください。



見出し表現

go on a diet

和訳

ダイエットする

見出し表現の解説
(文化・生活情報、
注意点、その他の
類義・関連表現など)

日本では痩身のための活動を総称して「ダイエット」と呼んでいるが、dietは広く「食べ物」や「食生活」を指す語。そこから派生して、「ダイエット、食事療法」や「食事制限をする」という意味がある。

go [be] on a dietは、「ダイエットをする [している]」というもっとも一般的な表現。

アメリカの定番ダイエット法の一つであるlow-carb diet (low-carbohydrate diet) やAtkins dietは、パンやパスタなどを避ける低炭水化物ダイエットである。

見出し表現や
類義・関連表現を
使った例文

▶ Help! I can't stick with my diet.

助けて! ダイエットが続かない。

▶ I've gained back the weight. リバウンドしちゃったよ。

見出し表現の
関連語句

◆関連語句

body fat percentage 体脂肪率 adult disease 生活習慣病

excess fat ぜい肉 diet product ダイエット食品

Chapter

1

社交

Social Life



人種や宗教など多種多様な人々が住むアメリカ。
彼らが初対面の相手にもフレンドリーにふるまうのは、
明るい性格だからというだけでなく、
「私は敵ではありません」とさりげなく知らせ、
互いに平和に暮らすための術でもある。
見知らぬ相手にも、
さわやかにGood morning. やHello. のあいさつ。
強くぶつかっていないくても、
身体が触れてしまったら(くしゃみやげっぷの後にも)
“Excuse me.” と一言。
目立つ陽気さの裏側には、礼儀正しさが隠れている。



I just wanted to touch base.

どうしてるかなと思ってさ。

touch base は「連絡を取る」。

contact, talk to ... や get in touch with ... との違いは、特に相手が最近どうしているかを知るため、または何かに関する意見を聞くための連絡に限定されること。

メールや手紙など「短い便りを書く、ひとこと近況を書き送る」という意味では、drop a line という表現もある (line = 文字列, 行)。

- ▶ I touch base with him from time to time.
彼とは時折連絡を取っている。
- ▶ Just drop me a line sometime. たまには連絡ちょうだいね。



Let's get together.

会おうよ。

get together で「会う、集まる、会合する」。

ハイフンでつないで get-together という名詞にすると、「(カジュアルな) 集まり、親睦会、内輪の会」という意味になる。



- ▶ We had a family get-together last week.
先週、家族で集まったんだ。



Come to my place.

うちにおいでよ。

houseは「(建物としての) 家」、homeは「家庭」というニュアンス。口語で場所を指す「うち」は、*one's place*とするのがピッタリ。

placeは「立場」という意味で使われることもある。

- ▶ Can we meet at your place? そっちの家で会える?
- ▶ Put yourself in my place. こっちの身にもなってよ。



Let's meet halfway.

中間地点で会おう。

待ち合わせの際、相手の家まで迎えに行く (pick up) のではなく、お互いの中間地点で会う、途中まで出迎えることを指す。

議論や交渉の場面では、「お互いに妥協する、譲歩する」という意味で使われる。

- ▶ We met halfway at Tokyo station.

僕らは中間地点の東京駅で会った。

- ▶ We finally met halfway at \$100.

最終的には、歩み寄って100ドルで合意した。



potluck/BYO

参加者持参の

参加者が自分の食べ物や飲み物を持ち寄る形式、そのパーティーを potluck (party) という。

BYOは、Bring Your Own（自分のものを持参する）の略。BYOF (F=food) やBYOB (B=bottle) など、食べ物や飲み物（酒）の持参を促すのが一般的だが、それらをもじってBYO date (date=交際相手, 異性の同伴者) やBYOG (G=girl) などの表現もたまにみられる。

- ▶ It'll be a potluck barbecue, so bring what you want to grill.

持ち寄りのバーベキューだから、焼きたいものを自分で持ってきてね。

- ▶ BYO drink and snack to share!

皆で分けられるよう酒とつまみを持参すること！



006

cook-out

クックアウト

人が集まって、屋外で料理をして食事をする事。

夏の楽しみのひとつ。バーベキュー (barbecue) もこれに含まれる。ただし、日本のバーベキュー、いわゆる焼き肉とは少々異なり、ソーセージ (sausage) やハンバーグ (hamburger) を焼いてパンにはさむだけの手軽なパーティーが多い。

マシュマロを串に刺して焼いて食べる marshmallow toasting [roasting] は、とろりとして美味。バーベキューやキャンプファイヤー (campfire) の定番おやつである。

- ▶ We're having a cook-out tonight. You wanna come?
うちで今晚クックアウトをするんだけど、来る？

007

Where were we?

何の話してたっけ？

二人またはグループで対話中に中断され、再開する際、何の話か、どこまで話したかを忘れてしまったときに使う。文末に before interrupted (中断される前) などが入ることもある。

教師が授業の始めに「前はどこまで履修しましたか？」と

生徒に確認するフレーズでもある。スピーチなど自分一人で語っていた場合や、読書をしていて読みかけの場所がわからなくなった場合の独り言は、Where was I? となる。

▶ Where was I? 私、なんの話してた？

—You were telling me about last night.

昨日の夜のことを話してたよ。



I'll go get some fresh air.

ちょっと外の風に当たってきます。

パーティーで社交に疲れたときや喧騒を離れて一人になりたいとき、しばらくベランダなどに避難するための定番フレーズ。意中の相手を外に誘い出すためにもよく使われる。

go get は、go to get や go and get の口語的な言い方。get some fresh air は「新鮮な空気を吸う、空気を入れ替える」という意味。

▶ Let's go get some fresh air.

ちょっと外に出て風に当たろうよ。



freshen up

トイレに行く

人が集まる場などで、go to the bathroom (bathroom p. 152) を品よく、ぼかして言いたいときには、「さっぱりする、リフレッシュする」という意味の freshen up がもっともよく使われており、便利。wash *one's* hands とする人もいる。

powder *one's* nose (鼻に白粉をはたく = 化粧直しをする) という表現もあるが、今では“おばあちゃん世代の淑女”を感じさせる懐かしいフレーズである。

ちなみに「がまんする」は hold it. 覚えておくと役に立つことがあるかもしれない。

- ▶ Excuse me while I go freshen up.
お手洗いに行くので失礼します。
- ▶ I'd like to freshen up first. とりあえずお手洗いにいきたいです。



The best is yet to come.

お楽しみはこれから。

the best は「一番いいところ、楽しいところ、おいしいところ」という意味。宴もたけなわのときや途中で帰ろうとする人に、

結婚記念日に妻や夫に、「まだ一番いいところまで来ていない」と告げる言葉。

好物を最後に食べる人や、絶好のチャンスを見送ってしまったかに見える人には、save the best for last（最高のところを最後の楽しみに取っておく）という表現がふさわしい。

- ▶ The best has been saved for last.
一番いいところは最後まで取ってあるの。
- ▶ The best go first. 善人が真っ先に逝く。(goesでなくgoが通例)
- ▶ You're the best! あなたって最高!



Your fly is open.

社会の窓が開いてるよ。

flyはパンツ (pants) の前あき部分のこと。

“Your fly is undone.”としても同じ。undoneは、靴ひも (shoe lace)、ボタン (button)、ファスナー (zipper) などが「ほどけている、閉まっていない」状態を指す。



012

You have my word.

約束するよ。

「確約する，誓う，保証する」といった意味で，後ろに on it [that]などを付けることもある。

I give you my word. や Take my word for it. などのバリエーションもあり。さらに保証を強めた言い方に，I give you my word of honor. (名誉をかけて約束する) (honor = 名誉) や，My word is my bond. (私の言葉は契約だ) などがある。

- ▶ I won't do that again. You have my word.
もう二度としないよ。約束する。

013

I instantly hit it off with him.

彼とはソク意気投合した。

hit it offは口語で「仲良くなる (する)，ウマが合う，意気投合する，相性がいい，いい関係を保つ」という意味。

同様の意味を持つ表現に，click with ...がある。「カチッと音がする」という意味のclickは，そこから発展して「ピンとくる，わかる」や「ピタッとはまる，フィーリングが合う」という意味を持っている。

- ▶ I never hit it off with my stepfather.

継父と全然しっくりいかない。

- ▶ I just don't click with her. 彼女とはウマが合わない。



chemistry

相性

学問の分野では「科学」だが、人と人の間の「相性、言葉では説明できない親和性」を指す語でもある。

「とても相性がいい、ビビッとくるものがある」ときは、have good chemistry という。

- ▶ Why do I love him? I don't know. It's just chemistry.

なんで彼を好きかって？ さあね。言葉では言えないわ。

- ▶ How do you know if you have good chemistry with someone?

相性ピッタリなときて、どうやってわかるの？



I'll buy you a drink.

一杯おごるよ。

drink は、広く「飲料」を意味する語だが、社交の場では主に



アルコール飲料を指す。

「おごる」は「買ってあげる」と同じく buy で表す。コーヒーなら buy a (cup of) coffee, 夕食なら buy dinner。

“Can I ...?” や “Will you ...?” は、ナンパでもよく使われる。

- ▶ Can I buy you a cup of coffee?
コーヒーをごちそうさせてくれないかな?
- ▶ Hey, will you buy me a drink? ねえ、一杯おごってくれない?



Can I have a sip [bite]?

ひとくちもらっていい?

a sip は飲み物の、a bite は食べ物の「ひとくち」を指す。

「大きな [小さな] ひとくち」は、a small [big] sip [bite] と言うことができる。「一切れ」は a piece (of ...), 「切る前のピザ, ケーキ (丸ごと)」は a whole pizza [cake]。動詞 sip は「～をひとくち飲む, ちびちび飲む, すする」, bite は「～をかむ, かじる」。

ちなみに、「間接キス」が日本ほど気に留められることはないが、have an indirect kiss with ... (～と間接キスをする) という表現はちゃんと存在する。

- ▶ Can I have a sip of your beer?
あなたのビール, ひとくちもらっていい?
- ▶ Give me some of yours. あなたのちょっとちょうだいよ。



I'm full./I'm stuffed.

満腹です。

食事が済んだとき、おかわりを勧められたときによく使うフレーズ。

stuffは「詰める、詰め物をする」の意味。stuffed turkeyは「詰め物をした七面鳥の丸焼き」、stuffed animal [doll] といえば、「ぬいぐるみ」のこと。

▶ Would you like some more? もう少しいかがですか？

—No thank you. I'm full. That was a great meal.

いいえ、結構です。満腹です。すばらしい食事でした。



Talk to you later.

またね。

See you later. (またね) と同様、とてもよく使われる別れ際のあいさつ。メールの結びにもよく使われる。

前にI'llを付けると若干丁寧にはなるが、親しい間柄で交わされる言葉であることに変わりはない。



Nice talking to you.

話せて楽しかった。

ばったり会った相手や初めて会った相手としばし世間話などをした後、「話ができてよかった，楽しい話をどうも」と別れ際にかける言葉。

文頭に It was を付けると、「お話できてよかったです」と少し丁寧な表現になる。

同じパターンの表現に，(It was) Nice meeting you. (会えてよかった，嬉しかったです) がある。

- ▶ It was nice talking to you. 話せて楽しかったよ。
—You too. こちらこそ。



I'll walk [drive] you home.

家まで送るよ。

歩いて送るときは walk，車に乗せて行くときは drive。

give a ride (車に乗せてあげる) を使って，I'll give you a ride home. ともいえる。「車で人を拾う」は pick up，「出迎える」は meet。

- ▶ I'll pick you up at the station. 駅まで迎えに行くよ。
- ▶ Let's meet at the lobby. ロビーで落ち合おう。



Let's do this again.

またやろうよ。

Let'sのかわりに We should (やるべき) という言い方もある。後ろに soon を付けると、「近いうちに」となる。sometime を付けると「そのうちに、いつかまた」という意味が加わり、社交辞令でも使われるフレーズとなる。あくまでも友好的なあいさつのひとつなので、“Let's do this again sometime.”と言われて“OK, When?”と聞き返すと相手がビックリしてしまうことも。

- ▶ Let's do this again. またやろうよ。
—Yeah, we should. そうだね。

Chapter

2

恋愛

Dating & Relationships



「いいかも、いいな」が「好き」に発展するかは、
とりあえずデートしてから決める。
これがアメリカ流なので、誘うほうも誘われるほうも、
最初はわりとノリが軽い。

そして3回以内に結論を出すのが一般的。

男女同権が叫ばれるアメリカでも、
恋愛シーンにおいてはロマンティックさが最優先。
イベント時はもちろん平常時も、男性が女性をリードし、
愛情を言葉や態度で示すことが求められる。
“I love you.”には“I love you, too.”以外の返事は
基本的に認められない。

“Me, too.”は手抜き、投げやりに聞こえる。

dinner date

ディナーデート

恋人もしくは恋人未満の二人が夕食を共にするデートのこと。デートでの割り勘 (Let's split the bill. p. 189) がわりとよく行われるカナダやオーストラリアに比べ、アメリカでは男性が勘定を負担する習慣が根強い。女性が自ら支払いを申し出ない限り、男性が支払うのが当然と考えられている。「6:4」などの中途半端な分担や、端数を女性が負担するなどのやり方は、かなり不自然に映る (gender role p. 34)。

- ▶ I have a dinner date tonight.
今日は女性 (男性) とディナーなんだ。
- ▶ I'm planning a romantic dinner date.
ロマンティックなディナーを計画中。

blind date

ブラインドデート

第三者の紹介などにより、初対面の相手とするデート。男性が花束を持って女性宅へ迎えに行くのが、古典的なパターンである。blind dateを装った窃盗、強盗事件も、過去にい



くつか起きているため、女性は注意が必要である。

- ▶ My friend set me up on a blind date with her classmate.

友達か、彼女のクラスメートとのデートをセッティングしてくれた。

- ▶ My blind date was a big disappointment [success].

ブラインドデートはまったくの期待外れだった [大成功だった]。



Will you go out with me?

付き合ってください。

go out with ... は「～と出かける」が直訳だが、「～と交際する」という意味の成句でもある。「付き合っ」が「一緒に来て」と「交際して」の両方を意味する日本語と、通ずる部分がある。

Will you marry me? (結婚してください) も同じく定番フレーズだが、どちらも Can you ...? に言い換えることができない。

Can you ...? (できますか?) は軽い依頼文として一般的によく使われているが、「できる」と「する」は本来別物で、「できるけどしたくない」ことも実際にはあるはず。求愛の場面では特に気持ちが重要であり、軽々しいイメージを伴う Can you ...? が使われることはない。

- ▶ Are you guys going out? あんた達、付き合ってるの?



hit on

言い寄る, 迫る

ダイレクトに「口説く, 言い寄る」場合と, 言葉にしなくとも「態度でアプローチする, 迫る」場合のどちらにも使える。「いちやつく」の場合もある。

恋愛話でよく登場するほかの表現には, I got laid with [by] ... (〜と寝た) や, 行為寸前の状態を表す ... were making out. などがある。

- ▶ I think Matt is hitting on me.
マットが私にアプローチしてる気がする。
- ▶ She was all over him. 彼女, 彼にべったりだったわ。



stand up

約束をすっぽかす

相手を立たせておく, つまり約束の時間に現れない, デートなどで待ちぼうけをくわせる行為。

- ▶ I can't believe he stood me up.
あいつ, 私とのデートをすっぽかすなんて信じられない。



027

hook up with ...

～とくつつく

そもそも hook up with ... は「(回線や機器を) つなぐ, 接続する」, 「提携する, 手を組む」という意味だが, 恋愛関係において「くつつく, いい仲になる」という意味でも非常によく使われる。

真剣交際というより, それ以前のお互い気に入った状態や, 一夜もしくは短期間の関係を匂わせる表現である。

▶ Did you hook up with anyone the other night?

この前の夜, だれかとくつついたの?

—Sort of. まあね。

028

turn on ↔ turn off

その気にさせる ↔ 萎えさせる

「人を刺激してワクワクさせる, しびれさす」ことを turn on といい, 恋愛関係においては性的に興奮させることを指す。そうさせるもの(名詞)は turn-on。

反対に, 「その気を無くさせる, 萎えさせる」は turn off であり, 名詞は turn-off。

- ▶ His songs turn me on. 彼の歌にはしびれちゃう。
- ▶ She knows how to turn me on.
彼女は僕をその気にさせる術を知っている。
- ▶ B.O. is such a turn-off. 体臭って萎えるよね。



do it

セックスする

NIKEの“Just Do It”は、「理屈はいいから、とにかく動け」といった意味のキャッチコピーだが、do itは文脈によっては、性的な意味合いの「する、やる」という婉曲表現となる。

一方、人を目的語としたdo me [you] (Just do me. やI'll do you. など)は、さらに直接的で、ほぼ性的な意味でしか使われないスラングである。

わかりやすく、下品にならない表現にはsleep with ... (～と寝る)があるが、幼い子供などと添い寝する場合も含むので注意。

- ▶ I guess you guys did it already. 君達もうしたよね？



030

protection

コンドーム

AIDSその他のSTD (Sexual Transmittal Disease = 性感染症) 予防, 避妊 (contraception) の有効な手段であるコンドーム (condom) は, 婉曲的にprotection (防具) と表現される。ほかには, rubber (ゴム), raincoatなどの俗称もあり。

感染予防をした上での性行為をsafe sexといい, その実践はsafe sex practiceという。「練習する」で知られるpracticeだが, 「～を実行する, 実践する, 習慣的に行う」などの意味もある。

STDには無効だが, 行為の後72時間以内にmorning-after pillと呼ばれる避妊薬を飲めば, 受胎 (conception) を防ぐことはできる。

- ▶ Practice safe sex. 性行為は安全に。
- ▶ I never do it without protection [rubber].
ゴムなしでは絶対にしないよ。

031

Is he two-timing me?

私, 二股かけられてる?

two-time は「恋人や配偶者に隠れて別の人と付き合う, 浮気

する」という意味の動詞。「友人や仲間を欺く、敵側に寝返る」という意味もあり、two-crossと同義語。

「二股（をかけること）」という名詞はtwo-timing、「二股をかけている人」のことはtwo-timerという。double-clock(ing/er)も、同じ意味である。

two-time loserといえば、「同じ試みに二度失敗した人、刑務所に二度入った人、バツ2（二度離婚した人）」を指す。

▶ My baby's a two-timer. アタシの彼は浮気者。



She's cheating on me.

彼女が浮気してる。

cheat on ... は「～をだます、裏切る」であり、恋愛関係においては「～に隠れて浮気する」という意味で使われる。

第42代大統領Bill Clinton（ビル・クリントン）が、ホワイトハウス（the White House）実習生だったMonica Lewinsky（モニカ・ルインスキー）との不倫を認めた際の“inappropriate relationship”（不適切な関係）という表現は、一気に流行語となった（同じ意味で“improper relationship”ともいう）。

浮気する男性はstud（種馬、色男、絶倫男）だが、同じことをする女性はslut（ふしだら、尻軽女）という「二重基準」は、double (moral/sexual) standardという。



- ▶ How can I make him stop cheating on me?

どうしたら彼は浮気をやめると思う？

—Once a cheater, always a cheater.

一度浮気した人は、その先もずっとする。



We broke up.

別れたんだ。

break up には「壊れる、分裂する、解散する」などのほか、「(恋人同士が) 別れる」という意味もある。「～と別れる」ならば、break up with ... とする。

夫婦が別れる場合には、divorce (離婚する) のほか、split up (仲間、恋人、夫婦が別れる) が使われる。

また、男女の別れに限らないが、go separate ways (別々の道を行く) という表現もあり、“Separate Ways” は Journey のヒット曲、Elvis Presley (エルビス・プレスリー) のアルバムタイトルなどに使われている。

- ▶ I broke up with Ben. ベンと別れた。
- ▶ We decided to go separate ways.
僕らは別々の道を行くことにした。

034

dump

(恋人を) 捨てる

ダンプカー (dump truck) でおなじみの dump は「(中身を) 投げ捨てる, ドサッと降ろす」などを意味する動詞。

目的語を人にする, 「(恋人を) 捨てる, 振る」や「(スタッフを) クビにする, お払い箱にする」という意味になる。

もう少し柔らかい言い方をするなら, break up with ... とする。

- ▶ You've been avoiding me. Are you dumping [breaking up with] me?

最近, 私のことを避けてるね。私を捨てるの [振るの] ?

035

We got back together.

私達, よりを戻したの。

「よりを戻す」は get back together (again)。「(壊れたものが) 元どおりになる, (グループなどが) 再結成する」という意味でもある。

get と back の間に目的語を置けば, 「~を元に戻す」という意味になり, get the couple back together (カップルのよりを戻させる) や get myself back together (自分自身を取り戻す,



立ち直す)などの表現ができる。

「仲直りする, 再結成する, 再会する」という意味では, reunite (re=再び+unite=結びつける)もよく使われている。

けんかの後で「仲直りする」はmake up。成句のkiss and make up (キスして仲直り)は, 必ずしも実際にキスすることを意味せず, 「すべて水に流して仲直りする」ことを指す。

「つきあったり別れたり」という状態はsee on and offという。

- ▶ Got back together again? Let's see how long that lasts.

またよりを戻したの? いつまで続くかね。

- ▶ It's time to kiss and make up.

そろそろ仲直りすべき時だ。(長引いた論争, いさかいを終わらせようという決まり文句)



preup

婚前契約

prenuptial agreementの略称 (prenuptial = 結婚前の)。premarital agreementも同じ意味。「婚前契約」と似て非なる「婚前交渉」はpremarital sex (この場合prenuptialはあまり使われない)。

結婚生活における義務 (家事, 育児, 夫婦生活など), 互いの収入や資産の扱い, 離婚時の財産分与などについて結婚前に定めておく契約のこと。ただし, 公序良俗や人権保護に反する

内容は認められず、婚姻後の変更は原則として不可。

資産を持った事業家や芸能人の結婚では、必ずといっていいほど交わされる。大物同士のprenupでは、婚姻中も離婚後も互いの財産に手を出さないことを定めるものが多い。

しかし、人気歌手同士のJay-z（ジェイジー）とBeyonce（ビヨンセ）の場合、離婚の慰謝料はもちろん、円満な場合も妊娠や出産ごとに妻の収入減を補うなど、夫から妻への計2500万ドルの支払いを盛り込んだ異例の契約が話題となった。



be separated

別居する

別居を表す特別な単語はなく、一般に「分離」を意味するseparateが使われる。受動態のように見えるが、“させられている”わけではなく、基本的に本人達の選択によるもの。

その後さらに「離婚を申し立てる、離婚届けを出す」のであれば、file for divorce。fileには「書類を提出する」という意味があり、税金の申告、告訴などにもfileが使われる（tax office p. 174）。

離婚の際の「親権」はcustodyといい、離婚問題専門の弁護士（divorce lawyer）を交えての親権争い（custody battle）に発展することもある。子と暮らしていないほうの親はnonresident parentといい、養育費（child support）を支払う。



- ▶ I've been separated from my husband for a year.
夫と別居して1年だ。



irreconcilable differences


和解しがたい不和

離婚理由を述べるのに、もっともフォーマルかつ便利な言葉。日本語での「価値観の相違」や「生活のすれ違い」同様、芸能人の離婚発表では必ずといっていいほど登場する。

irreconcilableは「(他と) 共存できない、一致しない、決着がつかない、妥協できない」などの意味。unreconcilableも広く使われているが、ir-が正式。

1984年、当時子役のDrew Barrymore (ドリュー・バリモア) 主演による同タイトルのコメディ映画 (邦題は『ペーパー・ファミリー』) が制作された。両親の離婚により平安を失った生活に不満を募らせた9歳の少女が、両親と離縁したいと告訴を企て…というストーリーだった。

- ▶ There are irreconcilable differences in the marriage.
その結婚には和解しがたい不和があります。
- ▶ Tony filed for divorce from Eva for irreconcilable differences.
トニーは和解しがたい不和を理由にエヴァとの離婚を申請した。

 関連語句

adultery 不貞 abuse 虐待

financial problem 経済的理由

039

happily-ever-after

めでたしめでたし

昔話の締めくくりに使われる決まり文句“*They lived happily ever after.*”（それから2人はずっと幸せに暮らしましたとき）に由来する。

happily 以下が, *happy ending*（「ハッピーエンド」は和製英語）を象徴するフレーズとして独立して使われるようになった。本来は副詞だが、名詞や形容詞としても使われている。

- ▶ *I hope it's a happily-ever-after.*
めでたしめでたし、だったらいいのにな。

040

gender role

性的役割

「男性が働いて家族を養い、女性は家庭に入り子育てをす



(gender = 性別。生物としての雌雄よりも、社会的、文化的な意味合いが強い)。

1960年代の終わりから70年代に女性運動 (women's movement) が高まり、gender role や「女性はこうあるべき」という固定概念 (stereotype of women), 男女の賃金格差 (gender pay gap) などについて、多くの人々が改めて考えるようになった。

現代では、個々の状況や心情は別としても、男女同権 (gender equality) が社会の規範とされている。

ただし、恋愛においてはromanticであることが何よりも優先されるため、賃金格差の有無に関係なく男性が支払いを受け持つのが一般的である (dinner date p. 22)。



Chapter

3

エンタメ

Entertainment



アメリカの映画館の入場料は、安いところで約3ドル、
大都市では13ドル近くにもなり、平均的には6.5ドル程度。

手軽な娯楽として、とても人気がある。

娯楽の追及にどん欲に見えるアメリカ文化だが、

作品に対する倫理規定は厳しい。

性的、暴力的な表現を含む映画は、

その度合いに応じて視聴年齢が定められており、

喫煙シーンについても、

大手映画会社は若年層向け映画に一切入れない配慮をしている。

また、子供向けのテレビ番組において、

喫煙、流血、死体を見せることも制限されている。